



デンジャラスK

川田利明

## 川田利明

(かわだ・としあき)

1963年12月8日生まれ、栃木県下都賀郡大平町(現・栃木市)出身。足利工業大学附属高等学校時代はレスリング部に所属し、三沢光晴の1年後輩。1982年に全日本プロレスに入団し、同年10月にデビュー。海外遠征後、天龍源一郎率いる天龍同盟入り。天龍らが離脱後は三沢、小橋建太(当時は健太)、田上明らと共に<sup>◇</sup>四天王プロレス、とも呼ばれる激闘を繰り広げ、全日本を支えた。2000年に三沢らが離脱シノアを旗揚げしたあとも全日本に残留。新日本プロレスとの対抗戦などで活躍した。2005年以降は無所属宣言をし、『ハッスル』のリングではそれまでと変わったキャラクターを披露。現在は引退宣言はしていないものの、リングには上がっておらず、飲食店『麵ジャラスK』の経営に専念している。全日本の象徴である三冠ヘビー級王座を5度戴冠。また、最多防衛回数、最長保持期間の記録も保持している。

「中学2年が終わった春休みに新日のテストを受けたんですよ」(川田)

玉袋 いや、ここが噂の『麵ジャラスK』ですわね!

川田 全然噂じゃないよ(笑)。

玉袋 いやいやいや、全日本プロレス四天王の一角、川田利明が自ら腕を振った料理を提供してるって、ダチヨウ倶楽部のリーダー(肥後克広)なんかからも聞いてますから!

川田 肥後さんはオープンしてすぐに来てくれて、たまたま満席でお客さんがいっぱいだったんで皿洗いを手伝ってくれたんですよ。

椎名 お客として来たリーダー自ら皿洗いですか(笑)。

玉袋 さすがリーダー! でも、ここは夜だけじゃなくランチ営業もされてるんですよ?

川田 昼夜ですわね。

玉袋 それで川田さんがほとんどワンオペでやられてるわけですよ? これは大変だわ。

川田 また俺の場合、プロレスのダメージが身体じゅうに残ってるのであちこち痛むんですよ。

玉袋 うわ、やっぱりそうなんだ。

椎名 あれだけ激しい試合を続けてたらやっぱりそうなりますよね。

川田 前は筋肉がコルセット代わりになってなんとかなってたんだけど、いまは筋肉も落ちたのであちこち痛むんですよ。

玉袋 職業病とはいえ大変だよ。それでお店はもう何年目なんですか?

川田 7年目ですわね。

玉袋 7年ですか。川田さんみたいなトップレスラーが7年も厨房に立ち続けてるってすげえ。また、お店を出すのにこの場所を選んだ理由っていうのは？

川田 まあ、住んでるところから近かったから(笑)。

ガンツ でも(世田谷区)砧といえはもともとは全日本プロレスの合宿所があったところですよ  
ね？

川田 合宿所はすぐそこだったんだよね。

玉袋 すぐそこだったんだ！ 新日のレスラーが野毛に店出しちゃうようなもんですわね。青春を  
過ごされた場所で。

川田 18歳からいますからね。

ガンツ 今日はそんな全日本の合宿所時代のお話もいろいろ聞かせていただきたいんですよ。新  
日本の合宿所話はいろんな人が語ってますけど、全日本はある意味で情報が閉ざされてるから凄  
く興味があるんです。

玉袋 まあ、言えねえ話もあるかもしれないけど時効ってことで、今日はそこらへんも開示して  
いただけたらと思ってますんで。ひとつ、よろしくお願いします！

川田 よろしくお願いします。

ガンツ そもそも川田さんがプロレスラーになるきっかけとか、憧れたレスラーは誰だった  
んですか？



**川田** 誰っていうのはべつになかったですね。もともとプロレスは嫌いだったんで。

**ガンツ** あっ、嫌いだったんですか!? (笑)。

**川田** とくに流血だとか、ああいうのが嫌いだったんですよ。

**椎名** でも昔の全日本といえば、流血ばっかりでしたよね? (笑)。

**玉袋** アブドラー・ザ・ブッチャーとかザ・シークがいるわけだもんな。

**川田** だから全日本も最初は嫌いで。でも中学2年生のときにジャンボ鶴田 vs ミル・マスカラスをたまたまテレビで観て。「あ、こんな爽やかな試合もあるんだな」って思ったんですよ。

**玉袋** あの「田コロ」が、川田さんにプロレス開眼させたわけか。

**川田** いや、そこからまた観なくなりました。

**玉袋** (ずっこけて) また逆戻りですか!

**川田** また観なくなっただけで、暮れにたまた

まザ・ファンクス vs ブッチャー&シークを観て、自分が一番嫌いだった流血試合になぜか惹かれてしまったんだよね（笑）。

**ガンツ** 価値観が逆転してしまうほどのインパクトがあっただけでしょうね。

**玉袋** 子どもの頃にあんなの見せられたら大変だよ！俺は興奮すると爪を噛むクセがあるんだけど、あの試合を観終わったあと爪が全部なかったもんな（笑）。

**川田** あれだけ血だらけになるシーンなんて、いまなら放送できないかもしれないですよ。

**玉袋** 地上波じゃ無理だよ！

**椎名** R指定のプロレスですよ（笑）。

**玉袋** でもファンクス vs ブッチャー&シークで目覚めて、自分でやりたいとも思ったんですか？

**川田** いや、その後いろんなプロレスを観るようになったんですよ。それで新日本を観たら、ちょうど藤波（辰爾）さんがジュニアのチャンピオンになったばかりの頃で「こういうプロレスがあるのなら自分もやってみたい」って思ったんです。

**椎名** 爽やか系が好きだったんですね（笑）。

**川田** それです。新日本のテストを受けたんですよ。

**椎名** 中学卒業してすぐですか？

**川田** いや、違いますね。中学2年が終わった、春休みだったと思います。

**椎名** それはまた無鉄砲な感じですよ（笑）。

**ガンツ** 中2の年末にファンクス vs ブッチャー&シークを観て、その後、年明けに藤波辰爾のジ

ユニア王座奪取を観て、3月にはもう入門テストを受けてるわけですよもんね（笑）。

**玉袋** よく受けたよな。中2だもん。

**川田** で、受けてみたらテストのメニューは全部こなせちゃったんですよ。

**玉袋** すげー！ その頃の新日本のヤングライオンって誰だったんですか？

**川田** ちょうど仲野信市選手が新弟子で入ったときでしたね。

**ガンツ** じゃあ、高田（延彦）さんが入門するちよっと前ですね。

**川田** そうですね。高田さんはまだいなかっただんで、それでボクがテストを受けに行ったとき、前

**田（日明）** 選手がメシ当番をされていました。

**椎名** へえ。前田さんのちゃんこって美味しくなさそうだけど（笑）。

**ガンツ** なんてこと言うんですか！（笑）。

**川田** それで一応テストを全部こなしたってことで、ヒロ斎藤さんに事務所まで連れて行かれて、

山本小鉄さんに「中学卒業したらすぐに来い！」って言われたんですよ。

**玉袋** 中2でもう入門許可が出てたんだ！

**椎名** 格闘技は中学の頃からやってたんですか？

**川田** いや、相撲ぐらいですね。ただ体力には自信があって、スクワットも腕立ても普通にこな

せちゃったんで。あと身長も中学2年で180くらいあったんで。いまは縮んじやっただけ（笑）。

**玉袋** でも結局、新日には行かずに高校進学したのはなぜなんですか？

**川田** 中学の先生に「高校だけには出ないとダメだ！」って反対されたんですよ。「レスリングが強

い高校があるからそこで3年間続いたら行け」って言われて、それで行ったんです。

「すげえ！ 中2で新日の若手を絞めあげましたか」(玉袋)

ガンツ として入った場所が足利工業大学附属高校レスリング部だったわけですね。〃虎の穴〃として有名な(笑)。

玉袋 やっぱり高校3年間つーのは地獄の日々だったんですか？

川田 そうですね。しかも1年生で寮に放り込まれたのはボクひとりだったんですよ。

椎名 ひとりはツライですね。

ガンツ 〃新弟子〃がひとりみたいなんですよもんね。

玉袋 もう、高校1年から〃ワンオペ〃が始まってるんだよ！(笑)。

川田 それで1年はボクひとりで、先輩が8人くらいいて。その8人分の雑用を全部やらなきゃいけないんですよ。

ガンツ 単なる部員と寮生はまったく境遇が違うわけですね。

川田 まったく違いますね。

玉袋 新入生が受ける〃洗礼〃つーのはあったんですか？ 俺の友達が伊豆の大島南っていう全寮制の水産高校に行ってたんだけど、あの頃の噂だと、入学早々に1年生全員が海岸に呼び出されて、素っ裸で泳がされるっていう洗礼があったらしいんですよ。

**川田** 当時はそういうのがよくありましたよね（笑）。

**ガンツ** 昭和50年代の体育会系あるある（笑）。

**川田** 高校入る前、中学の野球部でもありましたから。素っ裸であそこまで走って帰ってくるとか。それを先生にやらされるんですよ。

**玉袋** いまやったら問題だよ。ゆとり教育以前っていうやつだな（笑）。

**川田** レスリングだって、青森のある学校なんて素っ裸でずっと旗を持って道場を走ってるんですよ。ウチも含めて多かれ少なかれ、どこもそういう話はあったと思います。

**玉袋** いま振り返ってみて、それは何が鍛錬できたんですか？

**川田** きっと気持ちの面で強くなったんでしょね。

**玉袋** 一回やっちゃまえばなんでも大丈夫になるっていうね（笑）。

**ガンツ** シャバっ気を抜く（笑）。

**椎名** イニシエーション（笑）。

**川田** 当時は新入生とか新弟子には何をやってもいいみたいな空気がなぜかあったんですよ。だから中学のとき、新日本の道場に行ったときもいきなりスパarringsをやらされましたからね。何も知らないのに。

**椎名** 入門テストとは関係なしに（笑）。

**川田** それで名前は知らないですけど、ある若手選手が俺のことを極められなかったんですよ。逆に俺がヘッドシザーズを極めて絞め上げて。

玉袋 すげえ！ 中2で新日の若手を絞めあげましたか。

川田 そしたら藤原（喜明）さんが出てきて、「おまえら、何やってんだ！」って若手をみんなぶん殴って。今度は俺が藤原さんとスパリングやらされて、拳で鼻をグリグリやられて鼻血まみれにされて、ケツの穴に指を突っこまれて、動けなくなつたところを、お腹で口を塞がれて息を止められ、本物のプロレスを教えられたんですよ。

椎名 新弟子にやるならまだわかるけど、入門テストを受けた中学生ですよね？（笑）。

ガンツ それは道場破りに対してやることでもんね（笑）。

玉袋 ひどい話だよ。中2つつつたら、まだ下の毛も生えただばかりの子どもじゃん（笑）。

川田 だから小鉄さんに会いに、新日本の事務所に行くまでの間、血だらけのシャツで電車に乗って行つたんですよ（笑）。

椎名 お尻を押さえながら（笑）。

玉袋 それがきっかけでお尻も覚えちゃつたってことはないよな（笑）。

川田 そっちには走らなかつたです（笑）。

ガンツ では中学時代に新日道場で洗礼を受けてるので、高校に入ってから「まあ、こういう世界だろうな」ってある程度受け入れられたりもしましたか？

川田 ただ、基礎トレーニングに関しては、プロレスの道場よりアマチュアレスリングのほうが数倍キツイですよ。だから全日本に入ってから基礎トレーニングに関してはキツイとは思いませんでしたね。その代わり、受け身、関節技、殴ったり蹴ったりっていうのはアマレスにはない